



各 位



平成 29 年 11 月 10 日

会社名 価値開発株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高倉 茂  
(コード番号 3010 東証第2部)  
問合せ先 取締役管理本部長 秋山 耕一  
(TEL:03-5822-3010)

## 第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異 及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日まで)の連結業績予想値と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、平成 30 年 3 月期通期(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)の連結業績予想につきましても修正いたしますので、お知らせいたします。

記

### 1. 予想値と実績値との差異について

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(金額の単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想値 (A) (平成 29 年 5 月 12 日発表)	2,300	50	20	0	0 円 00 銭
実績値 (B)	2,412	△43	△83	△114	△8 円 54 銭
増減額 (B-A)	112	△93	△103	△114	—
増減率 (%)	4.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間)	3,315	447	392	283	21 円 12 銭

(注) 平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式について 10 株を 1 株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1 株当たり四半期純利益」を算定しております。

### 差異の理由

当社グループは、ホテル事業をメイン事業として行っております。平成 29 年 7 月には『イーストプラザ東根(現：ベストウェスタン山形エアポート)』、平成 29 年 9 月には『ベストウェスタン大阪塚本』をランドオープンいたしました。売上高については、新規ホテルのオープンなどもあり全体として計画を上回りました。一方で利益面については、当初資産として計上する予定であった新規ホテルのオープンに係る設備等を費用として計上したことや社会的に深刻な人材不足の影響などにより人員確保のための採用コスト、人件費等が当初の想定以上であったことなどにより計画を下回りました。

## 2. 業績予想の修正について

平成30年3月期通期の連結業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(金額の単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想値 (A) (平成29年5月12日発表)	5,000	160	100	50	3円73銭
今回修正予想値 (B)	5,000	70	30	10	0円75銭
増減額 (B-A)	0	△90	△70	△40	—
増減率 (%)	0.0%	△56.3%	△70.0%	△80.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期連結会計年度)	5,663	434	662	48	3円55銭

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式について10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

### 修正の理由

上半期に続き、下半期においても平成29年12月には『バリュ・ザ・ホテル檜葉木戸駅前(仮称)』、平成30年2月には『ベストウエスタン札幌大通公園(仮称)』のオープンを予定いたしておりますが、第2四半期連結累計期間の業績の差異をカバーするには至らない見込みであるため、利益面については、計画を下回る予想に修正いたしました。親会社に帰属する当期純利益につきましては、当初の想定より法人税等が減少する見込みとなりましたので修正いたしました。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、さまざまな不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合がございます。

以 上